

令和6年度 松田町総合計画審議会 〈第2回〉 議事要旨

日 時：令和6年11月7日（木） 10時00分から12時00分まで

場 所：松田町役場4階 大会議室

出席者：12名（名簿順）

鍵和田委員、山岸委員、山崎委員、飯田委員、竹内委員、渋谷委員、鈴木委員、大槻委員、古舘委員、吉川委員、古川委員、太田委員

町：田代副町長、野崎教育長、鈴木参事兼政策推進課長兼定住少子化担当室長、早野参事兼総務課長、鎌田安全防災担当室長、山岸税務課長、堀谷町民課長、宮根福祉課長、渋谷子育て健康課長、遠藤観光経済課長、柳澤まちづくり課長兼駅周辺事業推進担当室長、渋谷環境上下水道課長、椎野教育課長

事務局：政策推進課（鍵和田、鎌田、松田）

次第

1. 会長あいさつ

2. 副町長あいさつ

3. 議事録署名人（2名）の選出

議事録署名人：山崎委員、飯田委員

4. 議事

（1）松田町第6次総合計画における令和6年度事業進捗状況及び令和7年度事業方針等について

（2）その他

7. 閉会

資料

資料1：松田町第6次総合計画に係る取組の進捗状況と評価

資料2：松田町第6次総合計画事業進捗評価シート（施策大綱ごと（1～6））

資料3：各評価に係る推進方法確認シート（評価ごと（1～2））

資料4：まちづくりアクションプログラム目標指標達成状況シート

質疑記録

議事（１）松田町第６次総合計画における令和５年度事業進捗状況及び令和６年度事業方針等について

太田委員：

全般的な話で、目標としている数値やそれに向けた取組の関連など不明な点が多い。ここで一つ一つ挙げていくと時間がないので、後日、質問したい内容をまとめて提出しても良いか。

事務局：

令和７年度から次期総合計画を策定するにあたって、基本構想から作り直すことを考えている。ついては、KPIをそれぞれいくつにするとどうなるといった審議をいただきたいと考えている。また、基本的な考え方について確認したい事項については、事務局までいただければ回答していきたい。

会長：

議事のその他でもそういった話をできればと思う。

■ １．誰もが健康で思いやりのある暮らしを育むまち【健康・福祉】

山崎委員：

高齢者の敬老祝いについて、お祝いするというのは良いことかと思うが、長生きされる方も多くなってきており、また、財政状況もあると思うので、対象とする年齢の見直しをしてはどうか。

福祉課長：

現在敬老会は７０歳以上の方を対象としている。来年度敬老会を実施するにあたって実行委員会を立ち上げるので、そのなかで検討していく。

副町長（回答補足）：

５年ほど前に見直しした経緯もあるので、その時の議論も踏まえ、改めて皆さんからご意見をいただき検討していきたいと考える。

吉川委員：

病児保育のピーターパンが開成町にあるが、利用されている保護者から、町内にないので遠く、利用しにくいという声をよく聴く。

子育て健康課長：

ピーターパンは、五町の広域にて負担金を出し合い共同で運営している。ご意見を踏まえ、今後より利用しやすくなるよう検討していく。

大槻委員：

学童保育運営事業について、松田小学校に私の子どもも通わせていただいているが、途中で行くのが嫌だと言うようになった。なぜかという、ずっと同じ遊びばかりでつまらないとのこと。例えば外で遊ばせてあげるなど過ごし方の工夫ができないか。

子育て健康課長：

学童保育については、基本的に好きなことをして過ごしてもらうことを基本にしており、外遊びも実施している。今後、人財バンクなどを活用したイベントなど、学童保育の支援員と協議相談しながら検討していく。

山崎委員：

酷暑で外遊びが難しい時期もあると思う。体育館などの活用も検討いただきたい。

■ 2. 質の高い学びで次代の担い手と文化を育むまち【教育・文化】

鈴木副会長：

寄幼稚園の園児は現在何人か。

教育課長：

寄幼稚園の園児は、現在、年少児 3 名、年中児 1 名、年長児 2 名の計 6 名。

鈴木副会長：

松田中学校の校舎は完成から 30 年経っているが、耐震性など含めて現在の校舎で問題ないのか。

教育課長：

松田中学校については、現在大規模改修工事を実施中である。耐震については、問題ないという結果が出ている。大規模改修工事では、外壁の塗装や校舎内の建具の更新などを行っており、今年度中に完成予定である。

鈴木副会長：

通学路のグリーンベルトについては、適切に維持できているか。

まちづくり課長兼駅周辺事業推進担当室長：

通学路全てを網羅出来ているわけではないが、通行量の多い道路など危険な道路について、グリーンベルトを設置しているところである。薄くなっているところなどについては、日々の道路パトロールにて確認し計画的に塗り直しを行っていきたい。お

気づきの箇所があれば教えていただきたい。

古川委員：

子どもが寄幼稚園に通っている。現在、寄幼稚園では月6回程度預かり保育を行っている。寄地区に住んでいる方は、祖父や祖母と同郷している家庭が多くそうした方は共働きも可能かと思うが、核家族の家庭には、預かり保育が月6回のみという状況では、働きたくても働けない。

松田幼稚園では毎日実施されていて、これからみやま運動広場を人工芝化して移住を促進していくというように町で考えられていると聞いているが、パートにも出れないというような状況は改善していく必要があるのでは。

現在、6名の園児という状況で全員預かりを利用するかというとそうではないと思うが、ご配慮いただきたい。

また、夏休み期間は、1回しか預かり保育がなく、1カ月以上の休みで1回きりでは、より就労は難しい。寄幼稚園での実施が困難であれば、夏休み期間は松田幼稚園の預かり保育を利用できるようにするなど何か対策を検討してほしい。

教育課長：

どうしてもコストの問題が出てきてしまうが、保護者の方のそういったニーズがあるということは真摯に受け止めたい。委員ご提案のように、松田幼稚園で預かりが可能かまたは寄小学校で実施している学童保育で預かるなどいろいろな可能性がある中で、保護者の方の意見を伺い、事業に反映していきたい。

大槻委員：

学校警備員の配置について、前回の会議でも話題になったが、現在も松田中学校には配置されていない。この件は、PTAや学校の先生からも要望が非常に強い。前回、松田中学校は施設の特性上、どこからも入れて、警備を配置しようがないというような話があったが、警察OBの方であれば、事件や事故発生は防げなくても発生時の初動対応が高く、いるといないでは全然違うと思うので、改めて中学校への警備員の配置を要望したい。

教育課長：

警備員について、PTAの方などから要望があるということは我々も承知している。前回説明したように、施設の特性上、警備員がいてもなかなか対応できないという説明をしたところである。

現在は、物理的なフェンスを設置することで不審者の侵入を防ぐことを主眼にして

対応している。初動対応については、教職員への研修を行うことで対応することは十分可能であると考えており、そうしたソフトとハードの両面から学校の安全を確保していくように、教育委員会としては考えている。フェンスは今年度設置予定。

大槻委員：

小学校や幼稚園は、既に外周にフェンスがあるが、警備員が配置されている。フェンスがあれば良いというものでもないと思うが。

教育課長：

学校警備員の配置については、本町独自の取組として行っている。人材確保も難しい状況もあり、警備員を配置するのではなく、ハードの部分の整備を進めていくということを考えている。

山崎委員：

難しい問題だと思う。本当にそういうことをやろうという人（不審者）は、たとえフェンスがあっても入ってくる。一方、コストの問題で警備員を配置するのも難しいかと思う。例えば、警備員が週5日毎日いなくとも2、3日だけでもいれば、抑止力になるという考えもあるのではないか。

教育課長：

予算もあることなので、実現できるかどうかをこの場で約束することは難しいが、こういった形が取れるか検討していく。

太田委員：

生涯学習センターの利用料が上がったことで、使えなくなったという話を聞く。登録団体は割引されて利用しやすくなっているが、単発で利用される方は値上げにより借りることができず、大井町や南足柄市の施設を利用しているという状況。

教育課長：

生涯学習センターは、昭和56年に開館し、それから今まで利用料の見直しがされていなかった。また、毎年数千万単位の歳出と歳入の差がある状況にある。建設当時は、松田山の利用料などでそれをまかなうという議論があったようだが、現在の赤字の状況を解消するためにどうしていくべきかというのが、議論の始まりだった。

委員ご指摘のように、生涯学習センターということで、町民の方の利用を促進して生涯学習を活性化させることが目的の施設であることは認識している。

大井町の話があったが、近隣市町も同じような課題を抱えており、今後利用料を上げていくという情報もある。

昨今の物価高の影響もあり、利用者の負担になることは十分承知しているが、歳入

と歳出の差を少しでも埋めて、なおかつ町民の方の活動に影響がない最小限のところでの料金改定をさせていただいた。減免の制度もあるので、利用にあたっては相談いただきたい。

鈴木副会長：

生涯学習センターの今後のあり方については検討しているのか。

教育課長：

あり方検討会を平成 27 年ごろに実施しその際にでた結論で、維持補修をしながらこの施設を維持していくという結論が出ており、現在はその考えに沿って維持補修をしながら施設を維持していくという方向で考えている。

古舘会長：

私も検討会に参加していた。そのなかで、施設に指定管理者を導入して運営していくという話になったがそれはその後どうなっているか。

教育課長：

指定管理については、一昨年、昨年度と募集を行ったが事業者からの応募がなかった。また近く、条件を見直して指定管理の募集を行う計画もある。

古舘会長：

南足柄市は指定管理者を導入し、大きなイベントを開催している。

副町長：

指定管理者制度の導入に向けて、事業者とサウンディングを行ったが、指定管理にすると年間数億円の指定管理料がかかるという結果であり、むしろ町の支出がより多くなってしまうことが分かった。指定管理にすることで自主事業などにより、今より事業収入が増えるかもしれないが、支出と収入の差は今よりも大きくなってしまうという状況である。指定管理については、どういった条件が適切か検討していく。

施設を取り壊すということは現在考えておらず、引き続き維持していく。

教育課長：

なお、先日から生涯学習センターの大ホールでサーカスを開催しているが、集客が難しい状況なので、お誘いあわせのうえお越しいただきたい。そうして盛り上げていくことで生涯学習センターが将来より良い施設になるので、よろしく願いたい。

竹内委員：

朝のあいさつ運動をされていた方が、高齢化で減ってきたように思う。あいさつから、町民の間のコミュニケーションの醸成につながっていくのではないかと。

副町長：

朝、おはようございますというあいさつがあると、一日の気分が違うと思う。町の職員も、1日と15日の月に2回、30分ほど小学校の通学路であいさつ運動を行っている。子どもたちも初めは戸惑っている部分もあるが、だんだん気持ち良いあいさつができるようになってくる。町民の皆さんにも少しずつ広げていけるよう、広報などを通じてPRしていきたい。

古川委員：

生涯学習センターに設置したボルダリング施設の年間利用回数は。

教育課長：

具体的な利用回数は、資料を持ち合わせていないので答えられないが、寺子屋まつで2週間に一度ボルダリング教室を開いている。また、外壁に設置したボルダリングウォールも、週末のイベントや消防、警察のトレーニングなどに定期的に利用いただいている。

古川委員：

あまり使われていないという話も聞いていたので、安心した。今後、中学校の部活動を地域移行していくなかでボルダリング部をつくるなど考えてはいかがか。

教育課長：

部活動を町主導で創設するのはなかなか難しい。保護者の方からの提案などあれば、それがムーブメントになっていくと思う。

ご意見も踏まえ、今後も利用促進を図っていく。

■ 3. 賑わいと雇用を生み出し、働きがい育むまち【経済・産業】

山岸委員：

ジビエ処理加工施設について、令和7年度の事業内容に実務研修や販路の開拓といった記載があるが、個人の食卓や子どもたちの給食に出てくるようにしていくために、ジビエに関する不安感や嫌悪感の払拭していくような活動をしていくべきでは。

観光経済課長：

あしがらジビエ工房は、足柄上郡5町で共同運営している。販路拡大に向けてジビエ料理のメニューを10種類ほど作った。今年度、寄小学校でアンケート調査をしたが、委員ご指摘のように抵抗感があることが分かった。そうした抵抗感を解消するために改めて学校に働きかけを行い、学校給食で提供できるようにしていきたい。

販路拡大については、引き続き5町で共同して進めていきたい。

山岸委員：

抵抗感を払拭していくための活動は行わないのか。

観光経済課長：

食べたことがない方が多いので、においなどそういったイメージがあるようである。保護者の方にも説明の機会を設けていきたい。

鈴木副会長：

ジビエを町の特産品にしていくべきでは。

観光経済課長：

既にふるさと納税の返礼品にしたり、ハーブ館での販売などをしている。引き続き、特産品として広めていきたい。

副町長：

安心安全な食べ物だと皆さんに知っていただくために、例えばジビエ料理の試食会の開催などの機会創出を検討していきたい。まずは、食べていただき町民の皆さんから美味しいと言っていただくことが、特産品として広がっていくことにつながっていくと考える。

古舘会長：

以前、そうしたイベントを開催していなかったか。

観光経済課長：

ハンター塾というイベントを開催しており、一般の方にもその時にジビエ料理を食べいただく機会を設けた。またそうした機会を計画していきたい。

山崎委員：

移動販売について、寄地区の住民の方が非常に重宝していると聞いた。移動販売車を通じてコミュニティの醸成にもつながり、高齢の方はより買い物が難しくなってくると思うので、町から支援を継続して、事業が続いていくようにしてもらいたい。スーパー、コンビニの誘致という項目もあるが、なかなか直ぐには難しいと思う。高齢化により買い物弱者が増えていくと思うので、移動販売を継続していくようお願いしたい。

観光経済課長：

昨年度、買い物環境向上協議会という協議会を設けて議論いただいた。その際に、移動販売についても議論が行われた。

現在、2台体制で行っており、松田町の全域と一部大井町も回ってる。今後も継続していけるように、ヤオマサ、町、移動販売に関わっている方の3者で定期的に協議

を行っている。課題もあるが、高齢者の見守りという性質も兼ねての事業になるので、より充実できるよう予算を確保していきたい。

スーパーについては、総合計画策定に向けたアンケートにおいても誘致を望む声が多い。駅前再開発のなかで実現できるよう、組合にも働きかけていきたい。

■ 4. 持続的に発展し、豊かな暮らしを育むまち【暮らし・基盤】

鈴木副会長：

籠場橋の交差点が2車線になったが、旧道から新松田駅に向かう交差点については進んでいくのか。

副町長：

籠場橋の交差点に続く、次の改良地点は委員ご指摘の交差点であると、町でも県に確認している。

交差点改良には、用地交渉が必要となり、県の土木事務所にて進めていただいているところである。町でも要望としてあげている事業なので、町も協力しながら進めている。

鍵和田委員：

良好な住宅地の整備・促進の項目で、住宅建て替えの際のセットバックについて記載があるが、自治体によっては、その土地を買い上げていって、上手くいっていると聞いているが、そういった考えがあるか伺いたい。

まちづくり課長兼駅周辺事業推進担当室長：

委員の話が専門的な話だったかと思うが、建物を建てる時に接している道路の幅が狭いままだとまずいので、道路幅4メートルを確保していこうという話である。

4メートルを確保するためには、建物を建てる方からすると一部土地を削られてしまうことになるので、それに対してどのように行政として支援していくのかということかと思うが、建物を建てるには手続きが必要であり、毎回、個別に協議を行っている。その際に、セットバックの部分については、恐縮ではあるが寄付いただくということがほとんどである。

寄付いただいた土地については、全て町の負担で分筆の登記を行い、道路の形として舗装を行っているというのが現状である。

鍵和田委員：

次の自然環境に配慮した開発事業の誘導の項目について、個人宅における雨水排水については宅内排水とされることが多いと思うが、昨今大雨が多くなってきているので宅内排水では飲み込みきれない状況が出てきていると考える。雨水管に接続するような指導をお願いしたい。

まちづくり課長兼駅周辺事業推進担当室長：

松田町の現状でいうと、下水道計画のなかで専用の雨水管は設けられていない。現実を言うと、既存の側溝を使っている状況だが、道路の側溝は道路の水を処理するためのものなので、そこにつなぐようにというわけにもいかず、宅内排水で処理してくださいという指導をしているのが現状である。

副町長：

短時間に強い雨がというのが増えてきているが、松田町内の浸水箇所というのは私が昭和 53 年に役場に入ってからだんだん減ってきている状況です。

ただ、1 時間に 100 ミリといった猛烈な雨もあって、以前の想定とはかなり異なってきている。短期間に計画を見直すのは難しいが、対策を検討していく。

吉川委員：

町と生涯学習センターの間の道路の横断歩道の設置を検討いただきたい。

また、神山の小田急線の踏切の先の交差点について、事故が多かったり、危ない思いをすることが多いので信号を付けることはできないか。

鈴木副会長：

踏切の横なので、信号は付けられない。

副町長：

神山の交差点については、町の何十年来の課題であるが、町から何度も松田警察署や県警の公安に話してきたが、やはり踏切の横ということで設置が非常に難しいという回答であった。皆さんの安全確保のため、他の手法も含めて考えていく必要がある。

生涯学習センターの横断歩道については、警察との協議で以前と少々形が変わってしまった。警察の判断で設置が決まるものなので、直ぐにできるかは別として、そうした意見があったことはお伝えし、事故がなくなるよう検討を進めていく。

太田委員：

A I オンデマンド交通について、11月に料金が上がったが、そのことによって利用者の変動はあったか。また、オンデマンドバスの利用が増えることで、路線バスの利用者が減り、バスの数が減ることはないか。

参事兼政策推進課長兼定住少子化担当室長：

町内には、路線バスがあり、タクシー会社もあるなかで、その中間のような交通サービスとして、アンケート調査を行ったうえで、令和5年度からの3年間の実証実験を開始した。収支が大変厳しい状況であるなかで、見直しがどうしても必要であるという判断となった。地域の方に乗っていただきやすいよう、部分的なシステム改修等の改良を行ってきており、3年間の実証実験の間に、地域に合った形を模索していく。

変動料金による変化は、まだわからないが町では路線バスの利用促進に向け、まちのりパス65や通学バス定期券の助成を行っているが、ほとんど利用は減っていない状況であり、バス、タクシー、オンデマンド交通が上手く連携できるよう進めていく。

太田委員：

エリアを超える場合、料金が追加でかかる形になると思うが、町内にスーパーない現状で、エリアを超えて買い物に行くという利用があると思うが、物価高でさらにプラスの料金が必要ということになってしまう。今後、利用者がさらに減るようであれば料金の改定はあるのか。

参事兼政策推進課長兼定住少子化担当室長：

物価高という状況もあって料金改定している状況である。大井町、これから入る開成町については、買い物施設や医療機関など町民の移動が想定される箇所を選定している。本格運行していくには、町としてインフラとして捉えてどこまで費用負担していくのかということも検討していかなければならない。

古舘会長：

町民で育てていくという考え方も重要だと思っていて、ぜひ皆さまに乗っていただきたいと考えている。皆さまからもPRをお願いしたい。

■ 5. 自然と共生し、安全・安心な環境を育むまち【自然・環境】

山崎委員：

例年、関東大震災を意識するためか9月のはじめに防災訓練を行っていたと思うが、酷暑や台風などもあるので、時期を変更してはどうか。地域住民が顔を合わせる貴重な機会なので、なるべく参加いただけるよう考えていただきたい。

安全防災担当室長：

来年度からは、9月の防災週間からずらすことを考えている。台風シーズンもあるので、実施しやすい時期の開催を検討する。

鈴木副会長：

防犯カメラの数がまだ不足していると考える。以前、リースだと1台年間15万円くらいで設置できた。私は、防犯上、防犯カメラが絶対必要であると考えるが、町はどのように考えているのか。

安全防災担当室長：

初期に設置した15台で一度事業は終了していたが、昨年度から見直しを行い、これから毎年予算の範囲内で追加していくことを考えている。今年度は更新含め4台設置、来年度は予算の関係もあるが、設置箇所は警察にも相談し検討していく。

古舘会長：

国の指針に基づき、各市町村で地域気候変動適応計画を策定し始めているが、松田町はどうか。

環境上下水道課長：

松田町では地球温暖化対策実行計画を今年度中に策定を考えている。これは、地域含めどのように温暖化対策ができるかということで、担当にて順次作成を進めており、今後検討委員会等での協議を経て策定していく。

古舘会長：

子どもの館と自然館は西平畑公園の指定管理の範囲から外れていると聞いているが、将来的には合わせた形での管理に移行していくのか。

観光経済課長：

現在、子どもの館と自然館は直営となっている。将来的に指定管理にしていくかは検討中である。

古舘会長：

外れている理由は何か。西平畑公園を一体で管理してもらったほうが、経営しやすいのではと思うが。

まちづくり課長：

指定管理の募集について考え方を整理しているときに担当だったので、当時の背景を説明したい。

子どもの館と自然館については、ハーブ館などと少し性格が異なる施設ではないかという指摘があった。そのため、一度外した形で指定管理に入ってもらい、上手く連携して、それぞれの役割を果たしていくことができるか様子を見ていこうということとなった。現在は、その期間であり、最終的には一体として民間による指定管理でも

良いのではないかという検討をしていくという考えであった。

■ 6. みんなで協力し、みんなの力を育むまち【実現手段】

鈴木副会長：

東部清掃組合でごみ処理をしていて、あと3年くらいはもつと聞いた。現在1市5町で新たなごみ処理場を考えていると思うが、その状況を教えていただきたい。将来、ごみを心配なく出せるようにしてもらいたい。

環境上下水道課長：

現在1市5町で今後のごみ処理をしようということで、令和11年度頃を目途に話し合いをしている。

場所については、近隣の住民の方との調整もあってお話しできなかったが、理解を得られたとのことで今後議会や町民の皆さまに話をできる状況になってきた。

現在は、松田町、大井町、中井町の3町で広域で実施しているが、今後は1市5町という枠組みで、できるだけ広いところでごみ処理施設を作って、なるべく地域に負担がかからないような形で建設を考えている。具体的にどういった施設になるかは今後検討していく。

鈴木副会長：

東部清掃組合のごみ処理場は令和11年までは使用可能ということか。

環境上下水道課長：

その予定で進めている。

閉会